

## ロハスパッカーズ通信

### 定期報告 12月1回目—ニカラグア JICAの活動現場へ訪問しました—

ニカラグアは滞在日数が少ないという理由から、各国で行っている JICA 取材が僕たちのメインイベントとなりました。この国で訪問させて頂いたプロジェクトはシャーガス病の撲滅(昆虫を媒介して伝染する病気。感染した際に治療をしないと死に至る)を進めるものであり、ニカラグア全土で実施している殺虫剤散布の現場を訪れました。



※シャーガス病をもたすサシガメという昆虫の写真

ニカラグアの生活がどのようなものか想像がつかないかもしれませんので、簡単にご紹介します。ニカラグアは中米で2番目の貧困国であり、多くの方が小額の収入で生活しています。この国では農業産業が大きな役割を担っており、パイナップルやバナナといった果物が国内、とりわけ外国への輸出されています。

さて、農業が普及しているこの国では、多くの方が地方で生活を営んでいます。低所得者も多いことから、伝統的に受け継がれた安価な土壁で作った中米特有の住宅で人々は未だ生活を営んでいます。現代建築物と違い、こういった建物は衛生面で多くの問題(排水工事が成されていない、建築法を無視した構造/違法建築)を抱えており、特に一番深刻な問題として、刺されれば命に関わるような昆虫が好む条件が整っています。



※現地の方の家の写真

実際に私達が訪れた数件の家を見て衝撃を受けたのですが、家の中をニワトリや犬が走り回っていたり、建物にドアがなかったり。10畳ぐらいのスペースに10人の家族が生活し、荷物でそこら中があふれかえっていたり。床はタイルでなく、土だったり、かなり想像を絶する環境でした。

当日私達はプロジェクトの殺虫剤散布員と一緒に部屋の各方面に殺虫剤をまいたのですが、いろいろな虫がでてきました。例として、サソリ、タランチュラ、山ゴキブリ、ヘビ、得体の知れない昆虫、そして何より一番厄介なシャーガス病を招くサシガメという虫が多い時には20匹ほど見つけることが出来ました。



私達からすると、この虫が人の命を奪うほどの凶悪さがあるという認識だったのですが、何よりも驚いたのが現地人の反応でした。

キョウヘイ: 『このサシガメという虫を見たがあるの??』

現地人: 『ああ、いつも家にいるよ～。こいつらよく夜でてくるんだよねー』

キョウヘイ: 『この虫は人の命を奪う危険性を持っているんだよ！心配じゃないの??』

現地人: 『えっ、そうなの？それは知らなかった。。。大人しいんだけどなあ』

といった具合に現地人がサシガメの脅威をしらない現状がとても衝撃的でした。

こういった現状を目の当たりにすると、いかにJICAの活動が重要か改めて実感しました。人々の昆虫に対する教育、またシャーガス病の撲滅のために殺虫剤を散布する姿がとてまかつこよく見えた取材でした。

プロジェクト詳細を下記の動画でご覧頂けます。



URL: <http://www.youtube.com/embed/fm3oNCODygk>